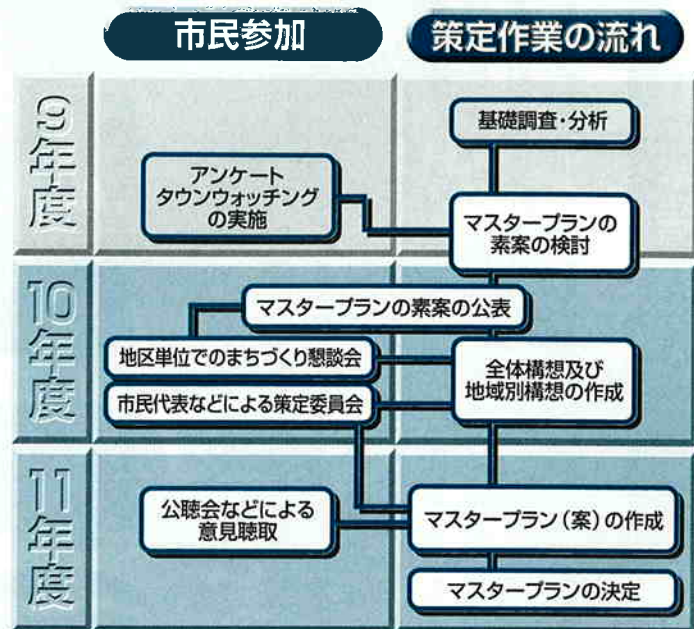


●まちづくりアンケート・タウンウォッチング調査結果●

市民参加による策定の進め方



市民参加のまちづくりのための行政の役割として「市民」の皆さんは、「市民と協力した計画づくり」「話し合いや相談の場を設ける」「情報提供」を上位にあげています。市民がわ

行政の役割
市民と協力した計画づくりと
情報提供

その他、地域のイベントへの参加、参画やまちづくりへの主体的な提案も大切と考えられています。

「市民まちづくりアンケート」の自由意見欄には、573票(回答者の44.0%)というたくさんのご意見、ご要望が寄せられました。その内容は、下表のように道路整

主な自由意見について

かりやすく、参加しやすいまちづくりを進めることが行政に求められていると考えられます。

将来の狭山市について

(児童:上位5項目)



「小学生まちづくりアンケート」より

まちづくりで重視すべき点

(市民:上位5項目)



「市民まちづくりアンケート」より

生活環境が整ったまちとしていくことが望まれているものと考えられます。

まちづくりで重視すべき点

自然環境の保全と

市民のさまざまな立場を反映した取り組み

「市民」の皆さんが、まちづくりで重視すべき点と考えるのは、複数回答、「自然環境の保全」が54.6%と最も多くなっています。その他、「高齢者や障害者への配慮」が45.4%、「居住環境の向上」が35.1%とあげられているなど、市民のさまざまな立場に対応した生活環境の整備が求められる傾向となっています。これは、

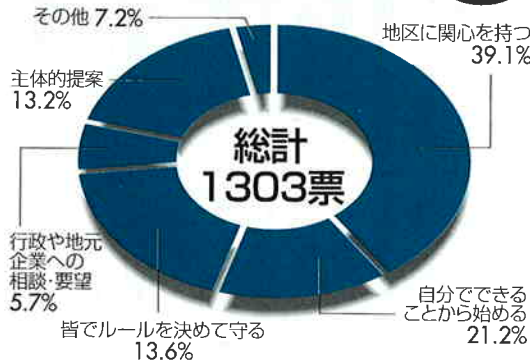
市民の役割

身近な地区に関心をもち、まちづくりの第一歩

まちづくりに対する市民の役割として、「市民」の皆さんは、「地区に関心をもち」ことを第一位に、「自分のできることから始める」ことを第二位にあげ、身近なところからまちづくりに取り組むことが重要と考えられています。また、「商工業経営者」の皆さんは、まちづくりに対する企業の役割として、「市民」と同様に「地区に関心をもち」ことを第一位にあげています。

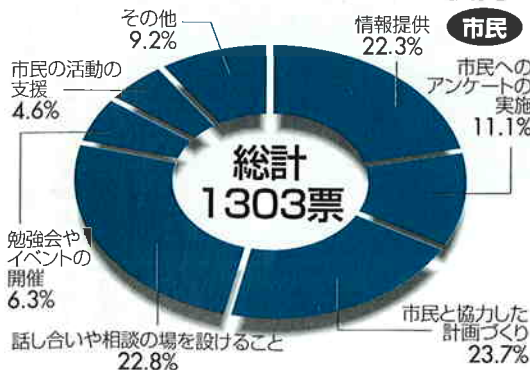
まちづくりに対する市民の役割

(市民)



市民参加を進めるための行政の役割

(市民)



タウンウォッチングについて

まちを歩いてみて、よい点・改善すべき点を再発見



昨年11月に、市内8地区で開催したタウンウォッチングは、いずれの地区も多数の参加者のもと、行なわれた。まちを歩いてみて、地区のよい点・改善すべき点、まちづくりの課題などを話し合いました。市民の皆さんからは、道路など生活基盤の充実に関する意見や森林、農地などの自然資源、神社、史跡などの歴史的資源の保全や活用に関する意見が多数出されました。市民との協働作業により、まちづくりに対する共通認識や相互理解を深めるきっかけとなり、地区ごとの特性をふまえた、きめこまかなまちづくりを検討するうえで、貴重な成果を得ることができました。

皆さんの貴重なご意見をいかして、都市計画マスタープランの策定を進めてまいります。

アンケートにおける主な自由意見

項目	主な内容	意見数(件)
道路	歩行者に配慮した道路整備、街灯の整備、橋の整備など	208
交通体系	バス路線の整備・拡充、市内循環バス路線の新設など	59
産業振興	駅周辺のショッピングモール化による商業集積など	37
都市施設	下水道・雨水排水処理施設の早期整備、駐車・駐輪場の整備など	166
福祉施設	子どもの育成環境への配慮、福祉施設の充実など	75
生活環境	自然環境の保全、ダイオキシン類の発生予防など	142
交流・コミュニティ	市民および県民レベルの行事の開催、地域コミュニティの充実など	39
今後のまちづくり	快適・安全なまちづくり、駅前などにおける都市機能の充実など	314
行政への要望	情報提供・公開制度の充実、市民意向の把握など	87

「アンケート」の自由意見欄には、道路事情の改善、商業の活性化といったご意見をいただきました。

平成10年度は、以上でご報告した結果や皆さんの貴重なご意見を十分参考とさせていただきながら、都市計画マスタープランの策定を進めてまいります。

問い合わせ
都市計画課へ内線256